



保育園児地びき網体験 和田島町大手海岸

市議会議員定数 **17** 名に決定

平成 23 年 4 月から実施

正副議長・監査委員あいさつ、委員会構成	P2 ~ 3
議員定数削減・議会報告会	P4 ~ 5
常任委員会だより	P6 ~ 7
一般質問、請願・陳情	P8 ~ 13
賛否表・政務調査費・視察	P14 ~ 15
定例会日程・編集後記	P16

決意新たに、 新体制スタート！

宮崎欽司議長

大木 進副議長

議長

宮崎 欽司



このたび、議員の皆様方の御推挙によりまして市議会議長という要職に就くことになりましたことは、まことに身に余る光栄であり、その責任の重さを痛感いたしております。

まず初めに取り組みたいことは、昨年の議員の不祥事に対し、市民の皆様方に謝罪するとともに、議員への信頼の回復に努めることであります。

次に財政面ですが、

地方と国の借金は二丁三年後には一千兆円を

超すことは間違いなく、

地方財政はますます逼迫してきます。行財政

改革「集中改革プラン」

第二幕はもつと厳しく

すべきで、少し甘いのではないかと考えます。

また、小松島競輪は

例年、本場開催の赤字

を記念競輪や特別競輪

を誘致し、その穴埋め

を行ってきました。全国的にも同じ傾向ですが、このたびの記念

レースの売り上げが大きく落ち込み、二十二

年度決算では累計六億

ぐらいの赤字になる見

通してあります。

その対策として、競

輪振興法人への交付金

(六月末現在三億七千

万円)を今後どのように

に取り計らっていたか。

交付金の撤廃

や本場開催(一日約千

三百万円赤字)の大幅

願ひ申し上げます。

副議長

大木 進



六月定例会で、議員の皆様方の御推挙によりまして副議長に選任されました。任務の重大さを痛感しております。

本市も非常に厳しい財政状況であります。ピンチをチャンスととらえ、行財政の改革に議員一丸となり取り組んでまいります。議長を補佐し、市民生活の向上、福祉の向上に全力で取り組んでいく決意です。どうか市民の皆様方の御指導、御鞭撻をお願いいたします。

監査委員

池淵 彰



小松島の未来をデザインしていくためのチカラ、その一つの筆を持つ監査委員。方向性を見極めながら、自治体の自律性の強化を図り、公正に効率性を追求し、住民自治を具現化していくことが使命であると考えます。議会のチェック機能強化と独任制の機能である監査委員としての権能強化が、それぞれの立場で発揮できるよう、責任と覚悟を持って取り組んでいきます。夢あふれる未来をデザインするために。

委員会構成

は委員長 は副委員長

予算決算常任委員会

予算に関する事項について
 決算認定に関する事項について
 その他財政に関する事項について

安 平 剛 之
 武 田 清
 他、議長を
 除く全員

文教厚生常任委員会

教育施設の整備について
 福祉対策の推進について
 環境衛生施設の整備について
 人権啓発の推進について
 公害・交通対策の整備促進について

井 村 保 裕
 濱 田 保 徳
 井 内 建 治
 佐 野 善 作
 大 和 肇
 出 口 憲 二 郎
 大 木 進
 宝 覚
 高 木 幸 次

総務産建常任委員会

総合計画について
 危機管理について
 税務行政について
 市有財産の管理について
 運輸事業の運営について
 水道事業の運営について
 消防行政について
 道路・河川・港湾の整備について
 農林・水産業の振興について
 商工業・観光の振興並びに開発について
 競輪事業の運営について

北 野 恒 男
 天 羽 篤
 米 崎 孝
 石 原 正 裕
 立 川 邦 男
 武 田 清
 安 平 剛 之
 池 淵 彰

議会運営委員会

議会運営事項や会議規則、委員会条例等の
 事項、議長の諮問事項について審議します。

安 平 剛 之
 池 淵 彰
 石 原 正 裕
 立 川 邦 男
 天 羽 篤
 宮 崎 欽 司

議会改革特別委員会

議会基本条例のさらなる充実を図ります。全
 国から基本条例に関する視察が増えています。

安 平 剛 之
 立 川 邦 男
 天 羽 篤
 出 口 憲 二 郎
 石 原 正 裕
 井 村 保 裕
 池 淵 彰

行財政改革特別委員会

小松島市行政改革集中改革プラン（第2
 幕）を検証し、財政白書について研究します。

佐 野 善 作
 井 村 保 裕
 米 崎 孝 進
 大 木 進
 宝 安 濱 池
 平 田 淵
 剛 保 彰
 覚 之 徳 彰

人権啓発特別委員会

人権啓発について審議します。

井 内 建 治
 高 木 幸 次
 大 木 進 覚
 武 田 清
 北 野 恒 男

議会報告会 主要要望・提言等

議員定数について

議員たるもの、名誉職であるべきではないか。議員を 19 名から 15 名に減らすべきではないか。

議員をあまり減らすと、市民の声が議会に反映できない。

議員の数を減らすのは反対。少ないと小さな困ったことに目が届かなくなる。

市議会は今までよく定員を減らしてきたので、これ以上は必要ない。

議員定数は、過去より減員してきている。今回も将来の小松島を考えた上での 2 名減であるなら、納得できる。

これだけの繰越欠損がありながら、5 年間で解消できるのか。ただ職員を減らすのではなく、議員も真摯に判断すべきだ。議員定数については 15 人で提案したい。

議員の定数は 17 名でよい。市長と同じように、市民のことを考え、小松島市をよりよくなっていく方向にもっていくことが大きな仕事である。

議員の数を減らすことを考えるよりも、財源を増やす方法を考えてもらいたい。

議員定数 2 人の削減について。人数を削減するより、給料を減額する方がいいのではないか。

議員定数削減は自発的に議員内部から出てきたのか。国民、市民よりサラリーを取りすぎではないか。サラリーに見合った仕事ができているのではないか。定数削減をいうより、もっとしっかり働いていただきたい。

議会に対して

議会改善度、全国で 4 位について、敬意を表したい。できれば 1 番に、1 位との違いは。

市議会広報をお金をかけて発行しているが、一方通行になっている。フィードバックすべきでは。

工場誘致や住宅の土地を確保するなど、税収が入ってくるような方向づけを持ち、議員もまだまだ増やし、そのことを考えて仕事をしてもらいたい。

政務調査費も有効に使い、どんどん先進国に行き、本当の意味の赤字団体に陥らない所などを研究してほしい。答えは要らない。

本会議場は 19 人では広すぎて贅沢だと思う。改造してもらって、市民にも開放し、市民の会等にも使えるようにしてはどうか。

行政に対して

防災の件について、海岸に近い場所については、どうするか。防災の放送が、風の向きにより聞こえない。

幼稚園の園舎、学校の校舎の点検を行ってほしい。コンクリートの落下があった。(落下したコンクリート片を持参して説明。)

赤字の 5 億 8,300 万の解消をどのようにやるのか。

競輪の上納金、やめるように頑張ってもらいたい。

給食や保育所の民間委託や学校の統廃合には理解できない。財政のツケを子供の施設に持ってこないでほしい。また、そこで働く人の身分が保障されないのではないか。

介護保険料はなぜ高いのか。市民もサービスを使わないように努力すべき。

職員給与削減は、最終手段。意欲低下につながるおそれがある。早期に見直しを。

小松島市の施設は一番中途半端である。もう少し充実したものにすべきだ。

以前火葬場の仕事をしていて、13 年ぶりに行ったが全く変わっていない。冬の寒い降雨時、各々車内で待機することがあった。火葬炉が 3 つ有るのに待機室がなぜ 1 室しかないのか疑問だ。待機室を整備していただきたい。

市街化農地の固定資産税が高いので困っている。固定資産税が高いので相続放棄をする人もある。市街化をはずした市もある。市街化をはずしてほしい。

小松島市における事業仕分けについて、石井町や鳴門市のようにやってほしい。市民目線で、公開の場ではどうか。

行政に対しての御要望、御提言は議長から申し入れを行いました。